

問題 23-16 新古典派成長論における黄金律

経済成長のモデルにおいて、生産関数が、

$Y(t) = \sqrt{K(t)} \times \sqrt{L(t)}$ ($Y(t)$: t 期の生産量、 $K(t)$: t 期の資本量、 $L(t)$: t 期の労働人口) と示されています。所得 (= 生産量) の一定割合は消費に回り、消費されなかったものはすべて貯蓄されます。資本減耗はなく、投資は貯蓄と一致するように実行され資本量の増分に等しくなります。一方、労働人口の成長率は 2% です。

この経済で、適当な貯蓄を実現することにより 1 人あたりの消費が最大となるような定常状態を達成する場合、そのときの貯蓄率と 1 人あたりの消費の組み合わせとして正しいものはどれですか。

	貯蓄率	1 人あたりの消費
1.	0.25	12.0
2.	0.25	12.5
3.	0.50	12.0
4.	0.50	12.5
5.	0.75	13.0

(国家 I 種 改題)